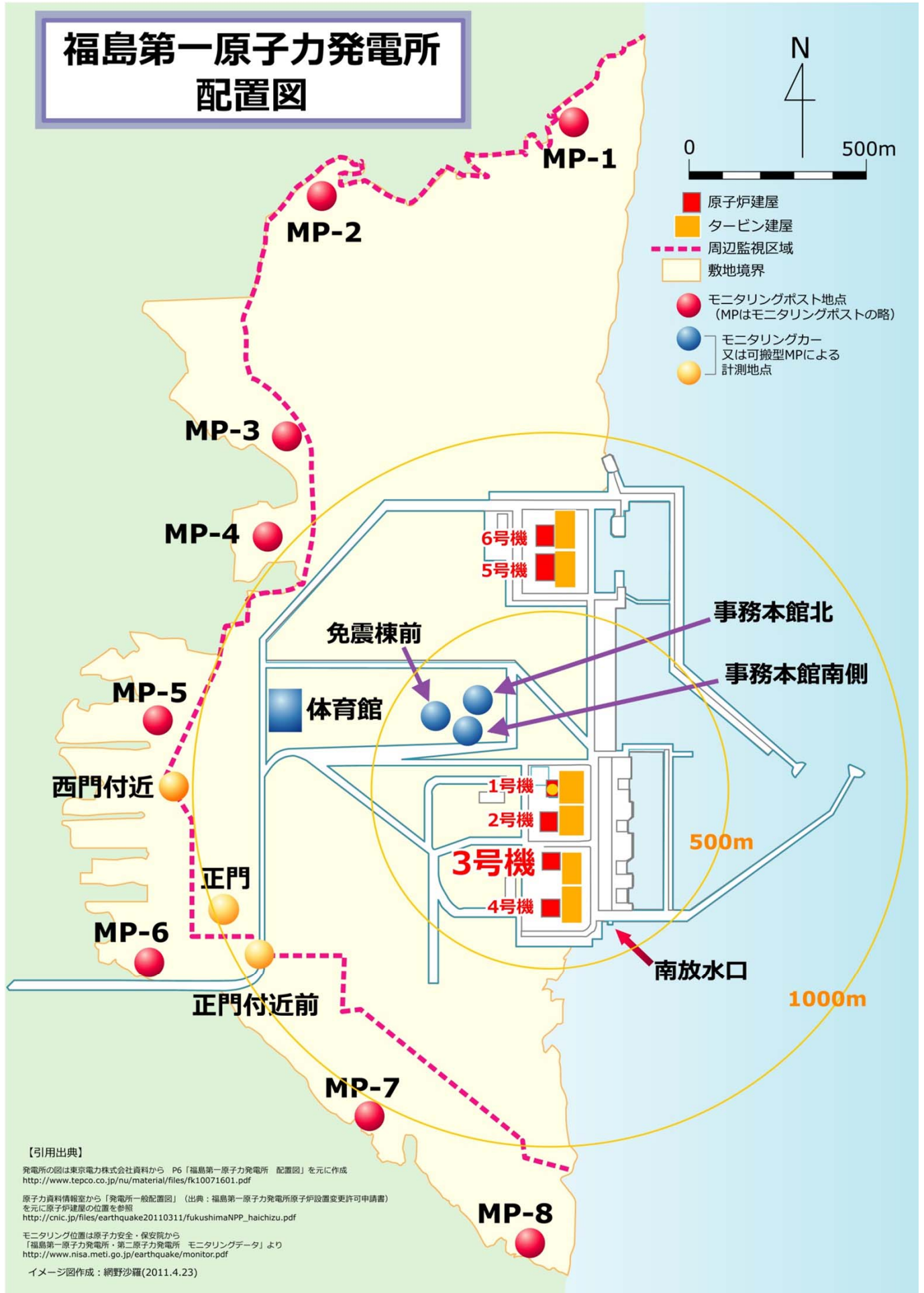
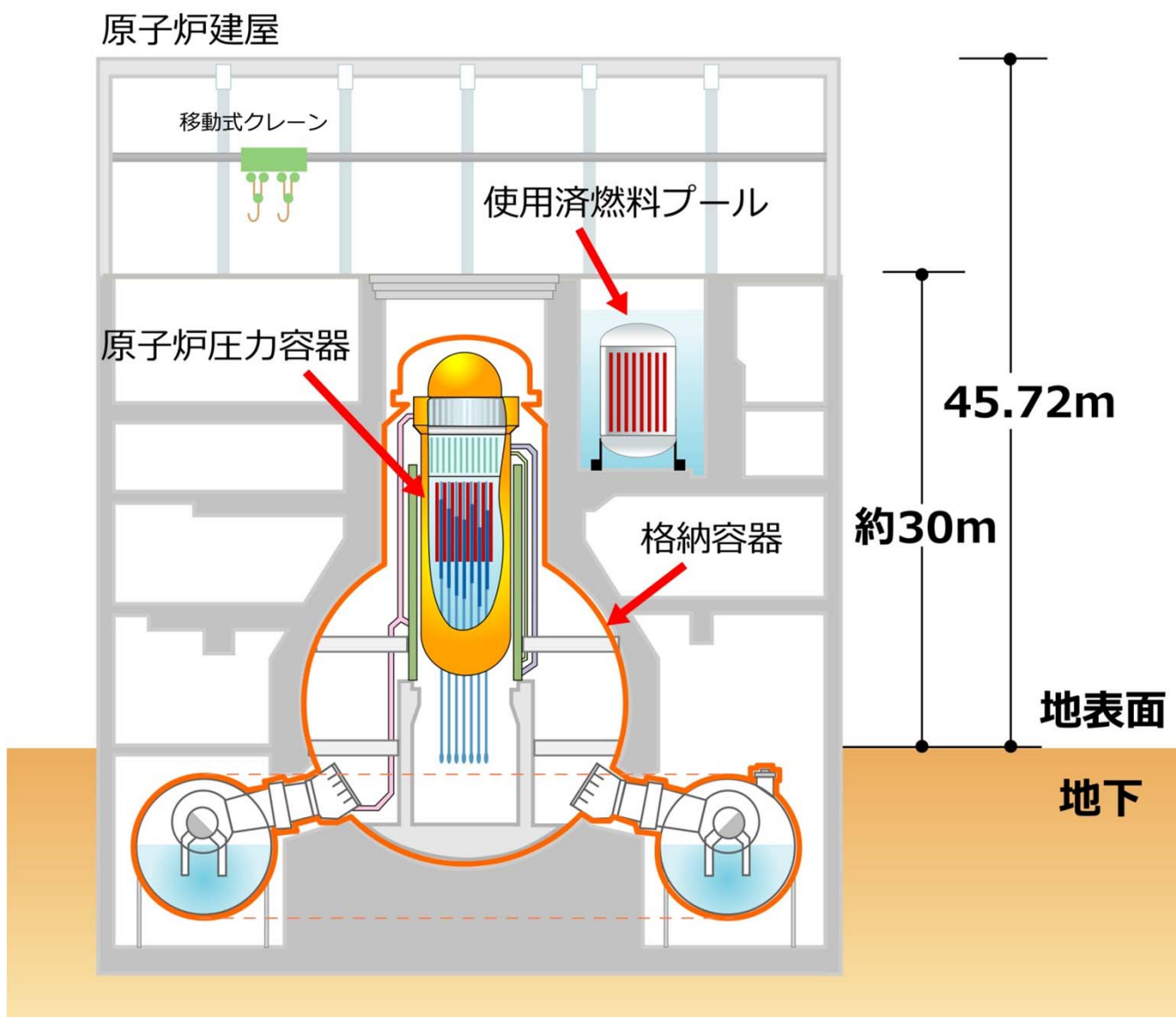


福島第一原子力発電所 配置図



【引用出典】
 発電所の図は東京電力株式会社資料から P6「福島第一原子力発電所 配置図」を元に作成
<http://www.tepco.co.jp/nu/material/files/fk10071601.pdf>
 原子力資料情報室から「発電所一般配置図」(出典:福島第一原子力発電所原子炉設置変更許可申請書)を元に原子炉建屋の位置を参照
http://cnic.jp/files/earthquake20110311/fukushimaNPP_haichizu.pdf
 モニタリング位置は原子力安全・保安院から「福島第一原子力発電所・第二原子力発電所 モニタリングデータ」より
<http://www.nisa.meti.go.jp/earthquake/monitor.pdf>
 イメージ図作成: 網野沙羅(2011.4.23)

3号機原子炉建屋イメージ図



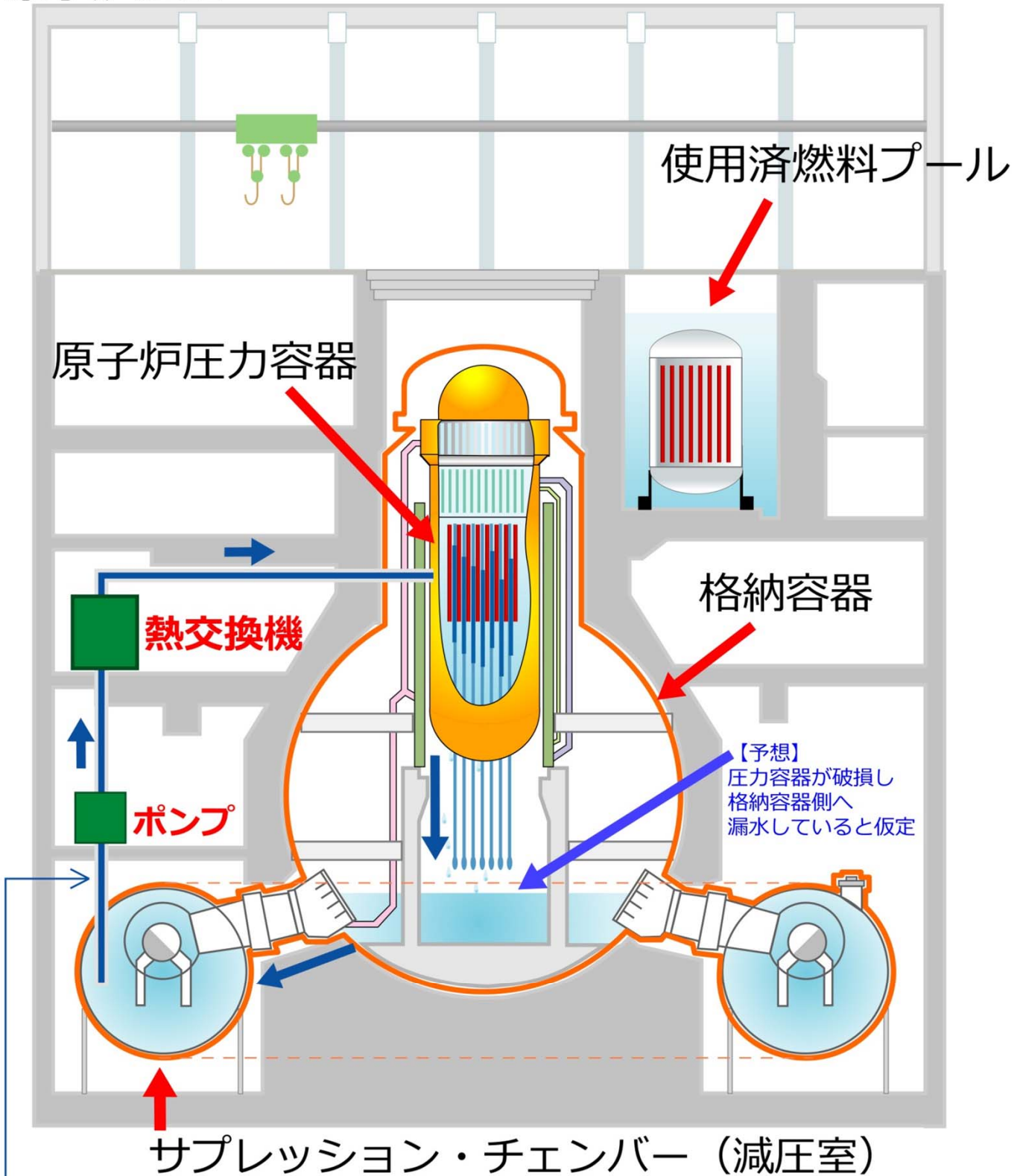
東京電力の資料より 3号機原子炉建屋の高さ寸法を引用
<http://www.tepco.co.jp/nu/material/files/fk10071601.pdf>

Wikipedia「福島第一原子力発電所事故の経緯」から
「沸騰水型原子炉压力容器及び再循環回路の詳細図（※：原子炉格納容器）」を元に作成 イメージ図作成：網野沙羅（2011年4月18日）

イラスト2 冷却システム回復案

参考資料

原子炉建屋



青の太い実線は既設の余熱除去系ライン。このラインを使って冷却システム回復を図ろうというもの。ただし福島第一原発は古い型式の沸騰水型原子炉なので、このラインに熱交換機を持っていない。そこでラインに熱交換機を入れ、この熱を吸収して海に捨て、冷却システムの回復を図ろうというもの。ただし、熱交換機を入れること自体は大工事。現在は高濃度放射能で現場が汚染されており、この放射能を取り除くことが先決となる。